

犬山城大手門枅形跡発掘調査概要

【調査の目的】

- ・ 犬山城大手門の枅形に関連した堀や土塁などを調査して、位置や規模、構造などを確認することを目的としています。
- ・ 絵図などを参考にして、堀や土塁の位置を推定した上で、福社会館跡地内に調査区を5か所設定して発掘調査を行います。

【各調査区の目標】

調査区① 堀の位置や規模、構造を検討するため、堀を横断する形で設定し、堀底まで調査します。

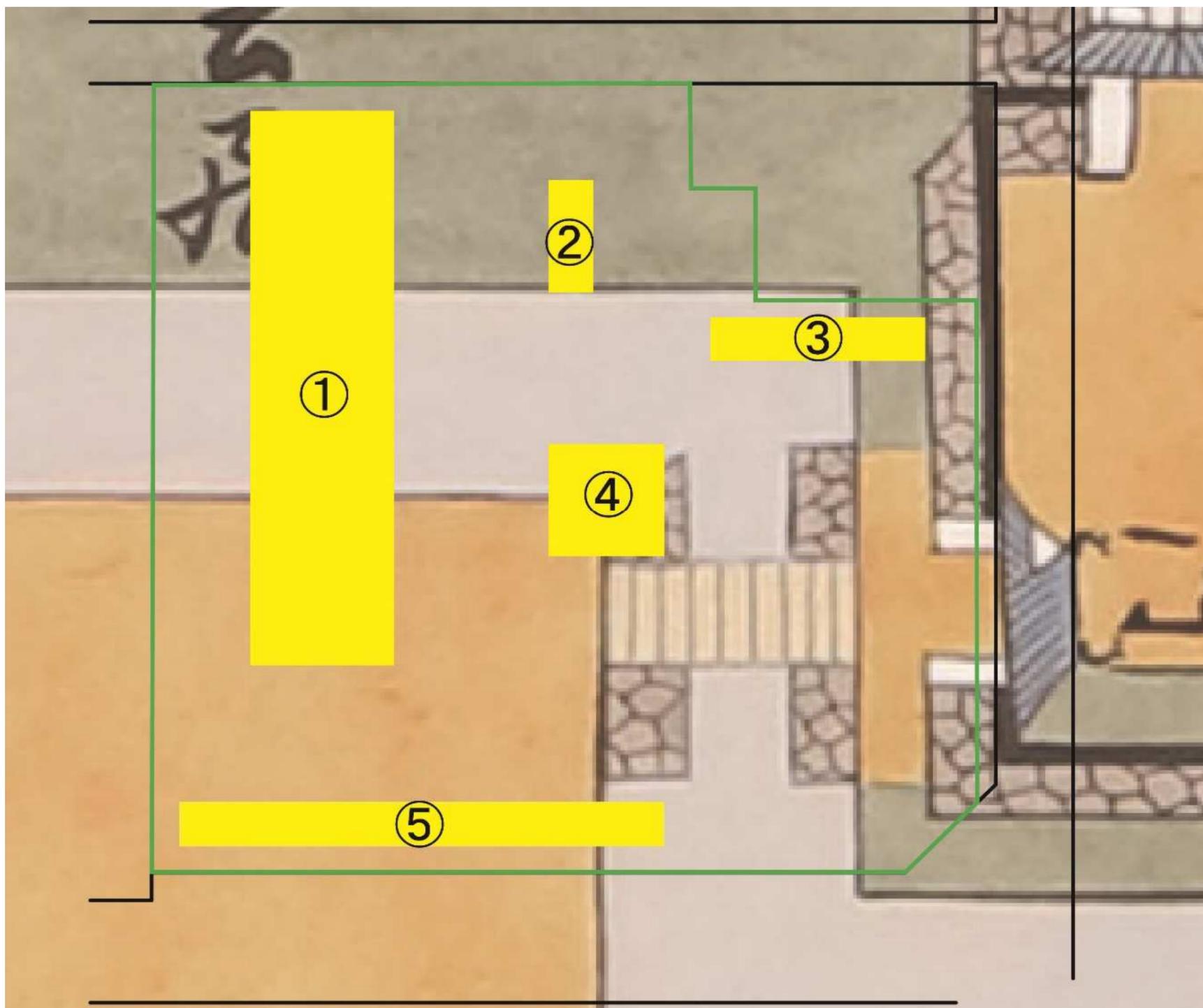
調査区② 堀の方向を検討するため、①の東側に設定し、堀の北端の位置を確認します。

調査区③ 堀が折れ曲がる箇所を検討するため、②の東側に設定し、堀の東端の位置を確認します。

調査区④ 堀が折れ曲がる箇所を検討するため、②の南側に設定し、堀の屈折部の位置を確認します。

調査区⑤ 堀の方向を検討するため、④の南側に設定し、堀の西端の位置を確認します。

あわせて、堀の西側の遺構（建物や溝など意図的に造られたもの）の有無を確認します。



犬山城修復願雛形絵図 安永9年（1780）犬山城白帝文庫蔵

※堀や門などの位置は推定によるものです。